特集　図書館のPR活動

図書館の広報媒体は紙媒体からホームページを活用した電子媒体に大きく変わってきています。図書館活動を知らせるためこれらの媒体を活用してどうＰＲしているか、また館内掲示物の工夫を特集します。

岩手県立図書館

県立図書館の広報活動のうち、日常的に行っていることについて紹介します。

■定期刊行物

県内図書館向けに年２回発行しています。当館ホームページ上で、No. 152（平成 14 年 9 月発行）以降の館報を、PDF ファイルでご覧いただけます。

【当館ホームページ→館報としょかんいわて】

館報としょかんいわて

更新日：平成25年11月14日

岩手県立図書館では、毎年2回、館報を発刊しています。
ここでは、No.152（平成14年9月発行）以降の館報を、PDFファイルでご覧いただけます。

なお、PDFファイルのご利用には、Adobe Acrobat Readerが必要です。詳しくは「閲覧環境について」をご覧ください。

No.173　（平成25年11月発行）

内容・ダウンロード

- 表紙・目次 [PDF形式/295KB]
- 特集　岩手県立図書館のホームページが新しくなりました（p.1～6） [PDF形式/2,132KB]
- レファレンスコーナー（p.7～8） [PDF形式/1,071KB]
- わかば通信（p.9） [PDF形式/850KB]
- いわて県民情報交流センター・アイーナ　施設紹介 第10回　岩手県パスポートセンター（p.10～11） [PDF形式/667KB]
- 岩手県内図書館紹介　「一関市立花泉図書館」（p.12） [PDF形式/333KB]
- 奥付（p.13） [PDF形式/289KB]

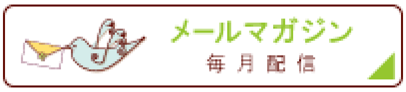
＊ページごとにダウンロードしてご利用いただけます。

当館利用者向けに、年４回、1, 300 部を発行しています。誌名「PECCO」（ぺっこ）には、「図書館を知ってもらう「ちょっと」したきっかけになれば」との思いを込めています。

内容構成は、特集記事のほか、企画展と定例で行うおはなし会・映画会の開催情報、図書館スタッフおすすめ本とし、図書館に興味のない方にも手に取っていただけるよう、表紙を含めて、全体的に柔らかい内容になるよう心がけています。

No.23 までは、ホームページ掲載のみカラーでしたが、No.24 からは、これに加え、配布用もカラーとなりました。より色彩を意識しながら作成することで、見やすい紙面となるよう心がけています。

【No.24 以降の「PECCO」】



毎月 20 日頃、図書館からのお知らせや新着情報を配信を希望する方へ、電子メールで配信しています。

種類は一般向け、児童向け、携帯電話用の３種類あります。内容は、展示や催事情報のほか、一般向けと児童向けには、おすすめの本の紹介やコラムなど、メールマガジン上でしか読めないコンテンツを加えています。

バックナンバーは当館ホームページ上で読むことができます。

なお、メールマガジン上で紹介した本は、館内にコーナーを設置して紹介しています。

【館内のメールマガジン掲載本コーナー】

毎月月末に発行しています。その月の館内の展示や催事の開催状況を、カレンダー形式で紹介しています。

その月によって催事などの掲載数が異なるので、レイアウトを工夫しながら、一覧性を活かした紙面づくりを心がけています。

【イベントカレンダーの一例】

■その他

催事や展示情報などをお知らせするほか、簡易で速報性があるという twitter の特徴を活かし、時事にあわせて所蔵する関連資料を紹介することもあります。平成 26 年３月 15 日現在、1,607 名にフォローしていただいています。

【当館 twitter トップ画面】

■当館ホームページ

上記のすべてが当館ホームページ上でご覧いただけます。目的の情報が探しやすい、見やすいサイトを目指しています。デザインもにぎやかで楽しい感じが伝わるようなものとしました。

【当館ホームページトップ画面】

■館内での広報

図書館の入口に、当館で行う催事の広報スペースを設けています。このスペースでは、ポスターの掲示とチラシの設置を主とし、催事によっては、関連本の展示を館内で行っています。

【３階飾り棚】

＊館外の方向けに、アイーナから図書館３階入り口に至るアプローチに設置しています。

【３階入り口】

【としょかん映画会関連図書コーナー】

＊館内を巡っていただけるよう、会場（ミニシアター）のある４階ではなく、３階にコーナーを設置しています。書架に色紙をはり、コーナーが目立つように配慮しています。

■館外での広報

企画展を中心に、館外への広報も行っています。設置場所は県庁や北東北観光センター（JR盛岡駅構内）、県立博物館等です。催事によっては、実際に担当がポスター・チラシを持参することもあります。

連携して催事を行ったときには、先様のサイトに掲載していただいたり、メーリングリストを通して宣伝していただいたりもしています。

報道機関へは、主として県庁記者クラブを通じて広報依頼をしています。

この他、県の広報媒体（『いわてグラフ』など）への掲載も依頼しています。

■今後の展開について

ブログや、「Facebook」「twitter」などの SNS が話題になっています。図書館を身近に感じていただく手段として、先に述べたとおり、当館でも情報発信用に「twitter」を活用しています。ですが、催事の内容によっては、SNS をはじめとするデジタルより、紙媒体の方が広報手段として適している場合があるとも感じています。どちらが良いということではなく、ＰＲ対象の趣旨や内容を理解し、それぞれに適した媒体・方法で、複線的に広報を展開することが肝要と思われます。

図書館の広報における近年の課題の一つに、「図書館の活動を知ってもらうこと」があります。その中でも特に非来館者へどうアピールするかは当館でも課題とするところです。

当館ではコンシェルジュを置き、担当が直接見学の宣伝チラシを持参して PR し、申し込みは積極的に受け入れています。

加えて、図書館以外の施設などとの連携を行っており、これも、図書館とは一見つながりがなさそうなところと連携するほど、非来館者への働きかけの有効な手段の一つと感じます。

連携し、展示などの催事を行えれば良いのですが、そこまで至らなくとも、パンフレットの収集など、業務で日常的に行う「資料の収集」を通して図書館活動へのご理解・ご助力をいただくことも、広報の第一歩として大事にしたいと思っています。

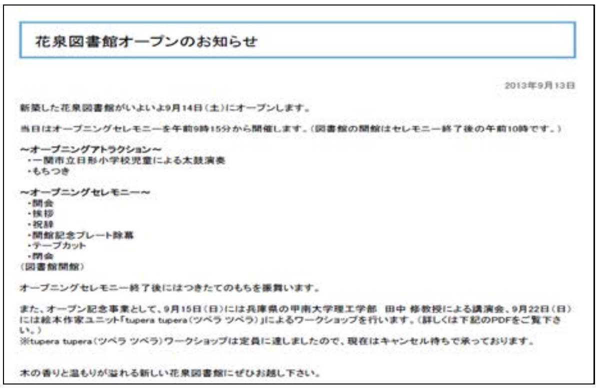
一関市立花泉図書館

■図書館開館にあたってのPR活動

花泉図書館は平成 25 年 9 月 14 日新築オープンしました。

旧図書館の時には、毎月の図書館報において、図書館建設経過の進捗状況を随時行っていました。図書館開館にあたって市民にどのようなＰＲ活動を行ったかお知らせします。

広報いちのせき（全市版、地域版）、図書館報「ラブック花泉」、一関市立図書館ＨＰ、ＦＭあすも（地元コミュニティＦＭ）、地元新聞社への情報提供、一関市関係機関（教育委員会部局含む）等にも協力していただき、ＰＲを行いました。


花泉図書館オープンのお知らせ

2013年9月13日

新築した花泉図書館がいよいよ9月14日（土）にオープンします。

当日はオープニングセレモニーを午前9時15分から開催します。（図書館の開館はセレモニー終了後の午前10時です。）

～オープニングアトラクション～
・一関市立日形小学校児童による太鼓演奏
・もちつき

～オープニングセレモニー～
・開会
・挨拶
・祝辞
・開館記念プレート除幕
・テープカット
・閉会
（図書館開館）

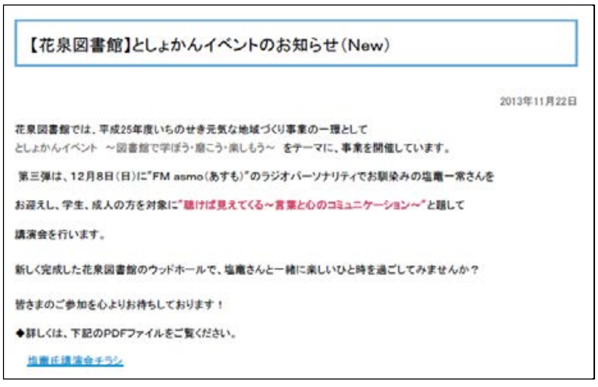
オープニングセレモニー終了後にはつきたてのもちを振舞います。

また、オープン記念事業として、9月15日（日）には兵庫県の甲南大学理工学部　田中 修教授による講演会、9月22日（日）には絵本作家ユニット「tupera tupera（ツペラ ツペラ）」によるワークショップを行います。（詳しくは下記のPDFをご覧下さい。）
※tupera tupera（ツペラ ツペラ）ワークショップは定員に達しましたので、現在はキャンセル待ちで承っております。

木の香りと温もりが溢れる新しい花泉図書館にぜひお越し下さい。

花泉図書館オープンのお知らせ

さらには、開館月の半年前（４月中旬）に建て前の開催、開館月の前月には新図書館の内覧会の開催により、住民の方々に開館前の段階から関心を持っていただけるような機会も設けました。


【花泉図書館】としょかんイベントのお知らせ（New）

2013年11月22日

花泉図書館では、平成25年度いちのせき元気な地域づくり事業の一環として
としょかんイベント　～図書館で学ぼう・磨こう・楽しもう～　をテーマに、事業を開催しています。

第三弾は、12月8日（日）に"FM asmo（あすも）"のラジオパーソナリティでお馴染みの塩竈一常さんを

お迎えし、学生、成人の方を対象に"聴けば見えてくる～言葉と心のコミュニケーション～"と題して

講演会を行います。

新しく完成した花泉図書館のウッドホールで、塩竈さんと一緒に楽しいひと時を過ごしてみませんか？

皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

◆詳しくは、下記のPDFファイルをご覧ください。

塩竈氏講演会チラシ

としょかんイベントのお知らせ

開館後についても、引き続き関係機関と連携をとり、情報発信を行っています

■ポスター、チラシ等の作成および館内掲示の工夫

主に図書館イベントの周知方法としてチラシの作成を行っており、図書館ＨＰに掲載するほか、館内での配布や市内図書館等の関係機関への配布、または花泉地域（全戸）への配布を行っています。

館内掲示の工夫としては、チラシとイベントの関連書籍の同時展示を行い、利用者の方によりイベントに関心を持っていただけるような環境作りに努めています。

また、開架・多目的ホール内には４カ所の掲示スペースがあり、それぞれのスペースの利用者層が異なるため、その年代に応じた掲示内容を厳選して貼付しています。

イベント関連展示

さらにテーマ展示の表示や館内案内などは、共通（Ａ５サイズ）のディスプレイスタンドを使用し、案内用はデザインも統一感を持たせ、展示用は限られたサイズの中でデザイン性も重視した内容での作成を心掛けています。

■ 花泉図書館開館のお知らせ

花泉図書館 オープン

大安 9月14日(土) 午前10時

地域の皆さん待望の図書館がオープンします。
木の温もりあふれる図書館をおおいにご利用下さい。

オープニングセレモニー

9:15～10:00　場所：図書館前駐車場

～ オープニングアトラクション ～

◎「せいりゅう太鼓」
（日形小学校５・６年生児童）

◎ もちつき
（餅つき唄：雄翠会）

（アトラクション終了後）
- 開　　会
- あいさつ
- 来賓祝辞
- 開館記念プレート除幕
- テープカット

【開　館】10:00～

★ つきたての もち振る舞い ★

9月14日（土）
【午前の部】　午前10時30分 から
【午後の部】　午後　3時　　から
場所：図書館前駐車場

【オープン関連イベント】

読み聞かせボランティアグループ
「園の森コロロ」による
おはなし会

◆日時/9月14日(土)
午後2時 ～ 2時30分

◆場所/花泉図書館
おはなしのへや

オープン記念事業 ①

甲南大学理工学部 田中 修（おさむ） 教授 講演会
（平成25年度いちのせき元気な地域づくり事業）

◆日時/9月15日(日) 午後1時30分 ～ 4時
◆場所/花泉図書館 ウッドホール
◆演題/「花と緑のふしぎ～植物のあっぱれな生き方～」
◆対象/一般成人の方(先着50名)
◆申込/花泉図書館(電話 82-4939 FAX 36-1951)
植物学の権威 田中 修 教授が花の魅力を伝えます（入場無料）

オープン記念事業 ②

絵本作家ユニット tupera tupera（ツペラ ツペラ）ワークショップ
（平成25年度いちのせき元気な地域づくり事業）

◆日時/9月22日(日) 午後1時30分 ～ 4時30分
◆場所/花泉図書館 ウッドホール
◆内容/段ボールを使ってみんなで植物園づくり
◆対象/幼児から小学生とその家族の方(先着30名)
◆申込/花泉図書館(電話 82-4939 FAX 36-1951)
話題の絵本作家ユニット tupera tupera（ツペラ ツペラ）による工作ワークショップ（入場無料）

【オープン記念パネル展示】

「～ 花泉図書館ができるまで ～」

◆展示期間/9月14日(土)
～ 9月23日(月)

◆場所/花泉図書館 ウッドホール

【オープン関連イベント】

読み聞かせボランティアグループ
「はずみちゃんのおはなし会」による
おはなし会

◆日時/9月21日(土)
午前11時 ～ 11時30分
◆場所/花泉図書館
おはなしのへや

[シャトルバス等をご利用下さい]

オープン当日は、オープニングセレモニー等を図書館前の駐車場で行うため、図書館には駐車できません。
車でお越しいただく方は花泉支所または花泉総合福祉センターに駐車をお願いいたします。
なお、花泉支所及び花泉総合福祉センターから随時図書館行きのシャトルバス等を運行いたしますので、ご利用下さい。
（シャトルバス等の運行予定時間：午前8時30分～午後3時30分）

● 開館日・開館時間

月曜日・火曜日・木曜日・金曜日　午前10時 ～ 午後7時
土曜日・日曜日・祝日　午前10時 ～ 午後6時

● 休館日

毎週水曜日（祝日と重なる場合は、その直後の祝日でない日）
毎月第4金曜日（資料整理日）
年末年始（12月29日 ～ 1月3日）
特別整理期間（年1回）

● はじめて借りるとき

利用者カードが必要です。利用者登録申込書に住所、氏名など必要事項を記入してカウンターにお申し込みください。また、その際、住所、氏名等の確認ができるものを提示してください。登録後、利用者カードを発行いたします。
発行された利用者カードは市内の各図書館でも使用できます。

● 資料を借りるとき

借りたい資料をカウンターにお持ちいただき、利用者カードを提示して貸出を受けて下さい。

資　料	借りられる数	貸出期間
本・紙芝居・CD・雑誌のバックナンバー	制限なし	3週間
DVD・ビデオ	1人5点まで	

● 資料を返却するとき

直接カウンターへ返却してください。他館で借りた資料の返却も可能です。また、市内の他の図書館への返却も可能です。（返却の際は利用者カードは不要です。）
図書館が開いていない時は、風除室脇のブックポストへ返却をお願いします。

● 読みたい本が貸出中のとき、または見つからないとき

リクエストカードに記入の上、カウンターへお出しください。貸出中の場合は、返却があり次第ご連絡いたします。
図書館に無い場合は、購入または他の図書館から借り受けするなどして、できる限りご要望にお応えいたします。
また、ご自宅のパソコンや携帯電話から図書館のホームページ上で資料を検索することができます。パスワードを登録された方は、ホームページから資料の予約が可能です。

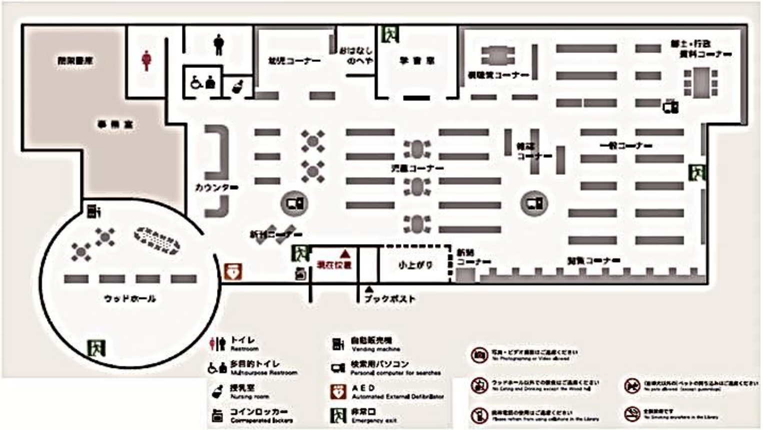
● コピーを取りたいとき

図書資料については、著作権法に基づいて一部複写ができます。（コピーは有料となります。）

● レファレンスサービス

本を探しているときや、調べもの・身近な疑問があるときなど、調べもののお手伝いをいたします。お気軽にお尋ねください。

《 利 用 案 内 》



JR花泉駅から徒歩15分

新図書館の開館準備のため、5月31日から長期間にわたり、休館させていただき、地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。
開館後は、皆様に親しまれる図書館となるよう職員一同努めて参ります。
多くの皆様のご利用をお待ちしております。

【お問い合わせ】

花泉図書館
〒029-3205
一関市花泉町涌津字上三ノ町12番地
TEL　0191-82-4939
FAX　0191-36-1951
E-mail:hanatosho@city.ichinoseki.iwate.jp

紫波町図書館

■ 図書館開館にあたって行ったPR活動

紫波町図書館は 2012 年 8 月 31 日の開館以来、多くの方にご利用いただいており、入館者は 2014 年 1 月末の時点で 30 万人を超えています。それ以前は、蔵書数 4 万 5 千冊ほどの中央公民館図書室しかありませんでした。町に初めてできる図書館を利用者となる町民へ広く周知するため、当館では以下のようなＰＲを行ってきました。

ホームページ画像

【町広報】

紫波町の広報紙「紫波ネット」上では、図書館を含むオガールプラザに関してたくさん取り上げられてきました。中でもオガールプラザ工事着工直前に発行された広報誌では、大きな館内図やイメージ写真を使用し、町民に図書館の全容を分かりやすく伝える工夫をしました。また、既存の公民館図書室の閉館についてもお知らせしました。

【新聞等報道機関】

開館に関して新聞やテレビなどによる図書館及びオガールプラザに関する報道が幾度も行われ、ＰＲ効果としては大きなものでした。新聞・テレビ以外では、ＦＭラジオや町内有線放送、町内で配布されている「紫波新聞」などで図書館の利用方法や、図書館カードの事前登録の告知などを行いました。

ブログ「紫波町図書館ができるまで」

図書館開館のため、平成 22 年 7 月に図書館準備室が設けられました。そして準備室が運営するブログ「紫波町図書館ができるまで」を開設し、開館に向けた準備作業の様子や町の情報発信などを行いました。ブログは閲覧者も多く、執筆時には楽しく読んでもらえる工夫をしました。

ポスター「紫波町図書館が開館します」

■ ポスター、チラシ等の作成および館内掲示の工夫

紫波町図書館が立地しているオガール地区は、「オガール地区デザインガイドライン」によって統一されたデザインを目指しています。これは、エリアの品質価値を維持・向上するための基準となっており、設計段階からデザインの監修が行われています。

紫波町図書館 SHIWA PUBLIC LIBRARY

紫波町図書館ロゴマーク

図書館においても、デザイン会社と協議を重ね、図書館をいかに使いやすく、心地良い空間にするかを考え、サイン、パンフレット、書架の色選びなど細部にわたって何度も修正を行ってきました。

ポスター等の掲示物を作成する場合には、決められたフォントを使用し、図書館のロゴマークを必ず用いるなどの細かいルールがあります。ホームページも同様に、統一されたデザイン、フォント、使用する色などに注意しながら作成、更新しています。

「図書館のブランディング」にこだわって作り上げている空間に、異質なものが入り質を低下させることの無いよう、掲示物ひとつから統一感を図ることを、スタッフ全員が心がけています。

紫波町図書館開館 (平成24年8月31日)

■ 紫波町図書館着工のお知らせ

オガール通信

情報交流館の着工間近

紫波中央駅前に建設予定のオガールプラザ。この建物は、図書館や子育て応援センターなどの公共施設と、産直、飲食店などの民間施設が同居する官民複合施設です。オガールプラザの中央に位置する「情報交流館」は、町立図書館と地域交流センターで構成されます。現在、詳しい設計協議を進めている段階で、この夏、いよいよ工事が始まります。今月は、情報交流館の概要や特色、各部屋の機能のほか、概算事業費やこの施設を生かした活動例などを紹介します。

※イメージですので、変更する場合もあります

図書館

「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する場として、図書館を常に時代の情勢にマッチした情報提供の場にしたいと、町は考えています。

活力ある「まちづくり」に役立ち、町の皆さんが自力で課題解決をするための情報を提供し、町の歴史・風土・文化に出合う場所になることを目指します。

「ここにくれば、楽しいことがありそう」「自分を発見することができそう」そんな知的好奇心を満たし、文化的、娯楽的活動などによる新しい創造と交流を生むための情報を提供します。

天井が高く、広い造り

図書館の閲覧室はおよそ800㎡です。木のぬくもりに囲まれた広く開放感のある空間で、大人も子どもも、のびのびと自由に楽しい時間を過ごしていただけるように考えています。

豊富な図書館資料

現在、町は、新図書館に配備する資料を収集しています。開館に向け、入門的、基本的な資料を中心に購入しますが、特に次の点に留意しています。

①町のすべての子どもたちと本を結ぶための児童書の充実
②紫波の基幹産業である農業を中心にしたビジネス支援図書の充実
③町にしかない地域資料を徹底収集した独自のコレクションづくり

分かりやすいエリア分け

閲覧室は大きく「児童書エリア」、雑誌などの「ブラウジングエリア」、「一般書エリア」、そして「地域ビジネス支援エリア」の4つに区分しており、本を探しやすいように、書架（本棚）に材質の違いや色分けなどで特色を持たせます。図書館は本が整然と並んでいるとイメージしがちですが、書店のようにテーマ別に「魅せる」工夫を施す予定です。

安心安全な免震書架

3月に発生した東日本大震災によって、多くの図書館では書架が転倒したり、本が落下したりと危険な状況になりました。新図書館は免震書架を採用します。大きな揺れがあっても書架の転倒や本の落下を防ぎ、安全に避難することができます。

ユニバーサルデザイン

誰もが不自由なく利用できる「ひとにやさしい」空間づくりを目指します。例えば、閲覧室内に子ども用トイレや授乳室を設置し、親子の利用に配慮します。

紫波町図書館サービス目標（開館時）
— 図書館運営方針、資料収集方針 —

①利用登録者数……14,000人（人口の約40%）
②来館者数……100,000人／年（情報交流館）
③開架冊数……60,000冊
④年間貸出冊数……350,000冊（10冊／年1人当たり）
⑤貸出日数……15日以内
⑥貸出限度数……1人10冊まで
⑦開館時間……平日 午前10時～午後7時
……土日休日 午前10時～午後6時
⑧休館日……月曜日、年始年末、館内整理日など

地域交流センター

個人でもグループでも、気軽に利用できる場が地域交流センターです。大小さまざまなスタジオを配置し、活動内容に応じた利用が可能です。このタイプの施設は町では初めてですので、主な機能を紹介します。

交流促進ステージ（1階）

情報交流館のエントランスホールで、普段はテーブルを並べ待合所などに利用しますが、レイアウトを変えることで、公開講座やワークショップなどの会場にできる多目的スペースです。

キッチンスタジオ（1階）

小規模な料理講習会を想定した調理室です。調理台2台と移動式の実習台を配備します。市民交流ステージを同時に活用することで食育イベントなどが開催できます。

大スタジオ（2階）

150人程度の集会や映画会、コンサートが可能な防音の部屋で、100席の移動観覧席を設置します。

中スタジオ（2階）

普段は図書館の学習室として使用しますが、必要に応じ50人程度の研修室として開放します。

音楽スタジオ（2階）

個人やグループのための音楽練習スタジオです。数人が利用できる2部屋を設けます。ミーティングにも利用できます。

アトリエスタジオ（2階）

絵画や生け花などの作業に適した仕様になっています。一度に10人程度が利用できます。

軽音楽の練習ができる部屋もあります

このほか、予約により利用できるミーティングスタジオやITスタジオなどを設置します。詳しい配置は次のページで紹介します。

子育て応援センターとの連携

オガールプラザの2階に入居する子育て応援センターとは廊下でつながり、施設の相互利用が可能です。例えば図書館でのお話し会や地域交流センターの大スタジオでの映画会、展示会なども可能で、現在その活用方法を検討しています。

工事に関するお願い

■6月下旬から始まるオガールプラザの工事に伴い、紫波中央駅前付近は関係車両などで大変混雑します。周辺地域及び通勤通学の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。
■企画課 公民連携室
■☎（672）2918

9 紫波ネット 6月号　　8

情報交流館のご案内

館内の主な部屋をご紹介します。

1階

①市民交流ステージ（エントランスホール）
②総合窓口　地域交流センターの利用総合窓口。カウンターにはコンシェルジュが常駐し、町内のイベントなどの情報を提供します。
③P_STUDIO（市民活動スタジオ）
④BM車庫　巡回図書バス車庫
⑤K_STUDIO（キッチンスタジオ）
⑥BM書庫　学校支援用書庫
⑦男女トイレ、多目的トイレ、子ども専用トイレ、授乳室
⑧児童書エリア　乳幼児の絵本から中高生向けのYA本（ヤングアダルト）までそろえます。
⑨赤ちゃんコーナー
⑩ブックポスト　夜間や閉館時の図書返却口
⑪閉架書庫　ハンドル式集密書架で将来的に図書9万冊を収納可能。
⑫相談室・会議室
⑬お話の部屋
⑭図書館カウンター　本の貸し出し・返却・レファレンス（相談）を行います。
⑮ブラウジングエリア　月刊誌や情報誌などの雑誌書架に隣接し、ゆったりと過ごすことができる場所です。
⑯地域ビジネス支援エリア　町の豊富な地域資料や農業などのビジネス書を配置します。広めの机で、じっくりと研究に打ち込めます。
⑰新聞コーナー　地元紙を中心に12紙程度をそろえる予定です。
⑱一般書エリア　総記、哲学から芸術、文学まで幅広い分野の基本書、入門書を中心にそろえます。
⑲閲覧カウンター　時間を気にせずに滞在できます。

情報交流館入口

2階

⑳A_STUDIO（アトリエスタジオ）　床が防水仕様になっています。
㉑M_STUDIO（音楽スタジオ）　遮音性が高く、器楽の練習に適した部屋です。
㉒C_STUDIO（小スタジオ）　定員12人程度の部屋が2つ。間仕切りをはずせば30名程度の会議も可能。
㉓I_STUDIO（ITスタジオ）　地域資料などのデジタルアーカイブ業務やIT教室を予定します。
㉔S_STUDIO（中スタジオ兼学習室）
㉕読書テラス　眺望良し。コーヒーを飲みながらの読書ができるスペースです。
㉖展示スペース　絵画や写真、文芸や工芸の展示も可能です。
㉗L_STUDIO（大スタジオ）　100席の移動観覧席を設置し、イベント時にスムーズな展開を行います。

情報交流館整備事業費の内訳（概算）

情報交流館購入費	8億8800万円
什器備品設置工事費	1億7000万円
図書館資料購入費	9000万円
図書館システム開発費	2100万円
全体事業費計	10億6900万円

※情報交流館購入費には、建設費、設計費、関連付帯工事費などが含まれます。オガールプラザ(株)が整備する官民複合施設の公共部分を完成後に町が購入します。

オガールプラザ工程表

工種／時期	平成23年 ～6月	7月～9月	10月～12月	平成24年 1月～3月	4月～7月
実施設計、建築確認	→				
建設工事		→	→	→	
建設付帯工事			→	→	
外構・駐車場工事					→
什器備品製作・設置			→	→	→
情報交流館開館準備					→

※東日本大震災の影響等で、建築資材資達の状況により、工程に変更が生じる場合があります。

胡堂文庫からのお知らせ

長年、皆さまに親しんでいただいた中央公民館図書室「胡堂文庫」は、新図書館の建設に伴う準備のため、8月末をもって閉館させていただきます。巡回図書かたくり号は2月末まで運行しますので、どうぞご利用ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「胡堂文庫」は、新図書館の地域資料コーナーとして、生まれ変わります。

当分の間、皆さまにはご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、引き続きご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

■問合せ　中央公民館　☎（672）3372

11 紫波ネット 6月号　　10